



水稻 殺虫・殺菌剤/育苗箱施用剤

新発売

ブーンアレス[®] モンカレス[®] 箱粒剤

いもち病

紋枯病

ウンカ類

初期害虫

チョウ目

高密度は種対応

は種時から

稲の病害抵抗性がアップ!

新規3成分が 稲を守る!

- ・は種時～移植当日まで箱施用可能。
- ・長い残効性。



いもち病



紋枯病



トビイロウンカ



コブノメイガ



幅広い害虫に
Oxazosulfyl
オキサゾスルフィル



紋枯病に!
Inpyfluxam
インピフルキサム

ブーンアレス® モンガレス® 箱粒剤

有効成分
オキサズルフイル 2.0%
インピルフルキサム 2.0%
ジクロベンチアゾクス 2.0%

人畜毒性
普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

特長

いもち病、紋枯病に
優れた効果と長い残効性

新規系統の殺虫成分で既存殺虫剤に
抵抗性を持つ害虫にも優れた効果

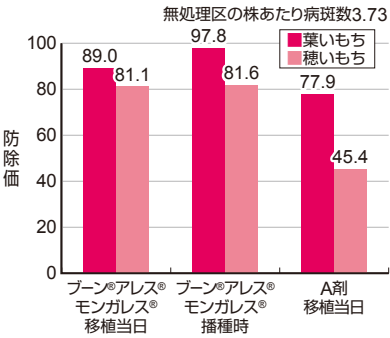
3成分で水稲の主要病害虫を
総合的に防除可能

適用病害虫と使用方法 2025年1月現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサズルフイルを含む農薬の総使用回数	インピルフルキサムを含む農薬の総使用回数	ジクロベンチアゾクスを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	いもち病、紋枯病 ウンカ類、ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ コブノメイガ、フタオビコヤガ ニカメイチュウ、イネツトムシ イナゴ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時 (覆土前) ～移植当日	1回	育苗箱の上から均一に 散布する	1回	1回	3回以内 (移植時までの 処理は1回以内、 本田での散布は2回以内)
	高密度に は種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)	移植当日						
	白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ(こま葉枯病菌)	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植当日					

新農薬実用化試験成績

●いもち病に対する効果

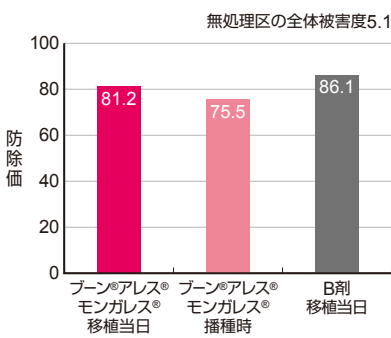


2023年 宮崎県総合農業試験場
品 種：ヒノヒカリ
播 種：5月22日
移 植：6月13日
発生程度：葉いもち 中
穂いもち 少

調 査 日：
葉いもち 8月10日(移植58日後)
穂いもち 9月12日(移植91日後)

調 査 方 法：
葉いもち 各区30株×2地点の病斑数を調査
穂いもち 各区15株×2地点の全穂を
発病程度別に調査

●紋枯病に対する効果

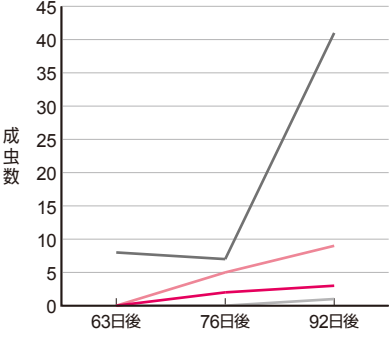


2023年 岡山県農林水産総合センター
品 種：関東90号
播 種：5月23日
移 植：6月15日
発生程度：少(接種)

調 査 日：10月2日(出穂40日後)

調 査 方 法：
各区100株×3か所の発病株率と
発病株20株×3か所の最上位病斑
高を調査し被害度から防除価を
算出

●トビウカに対する効果

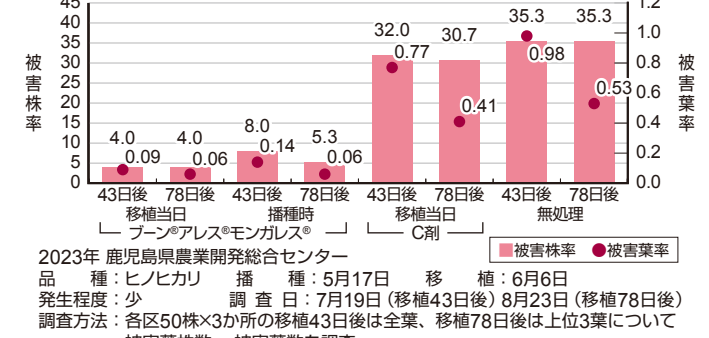


2023年 日本植物防疫協会宮崎試験場
品 種：ヒノヒカリ
播 種：6月8日
移 植：6月27日
発生程度：少

調 査 日：8月29日(移植63日後)
9月11日(移植76日後)
9月27日(移植92日後)

調 査 方 法：
各区30株×3か所について
払落し法により成幼虫数を調査

●コブノメイガに対する効果



2023年 鹿児島県農業開発総合センター
品 種：ヒノヒカリ 播 種：5月17日 移 植：6月6日
発生程度：少 調 査 日：7月19日(移植43日後) 8月23日(移植78日後)

調 査 方 法：各区50株×3か所の移植43日後は全葉、移植78日後は上位3葉について
被害葉株数、被害葉数を調査

【使用上の注意事項】

- 所定量を育苗箱中の苗の上から均一に散布してください。なお、葉に付着した薬剤は軽く払い落とすください。
- 苗を田植機にのせる際、育苗箱の土壌表面が乾燥している場合は薬剤が落下するおそれがあるため、散布後に葉に付着した薬剤を払い落とし軽く灌水してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗または苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後に田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、処理した稲苗を移植した水田及び隣接した水田ではいぐさを栽培しないでください。
- さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行ってください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。
- 低温での育苗条件では生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意してください。

- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 散布の際は、農業用マスク、手袋、長スボン、長袖作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の方は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 保管…直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

詳しい使い方、
登録内容とSDSは
こちらから。

本資料は2025年1月現在の
知見に基づいて制作しております。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。